

(2) 公園における多様な主体による活動支援の取り組み

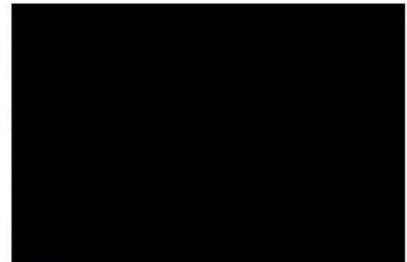
① コーディネートに関する職員の配置および取り組み内容

草津川跡地公園の管理運営手法の最大の特徴は、市民活動・緑の管理活動・事業者活動の各部会が連携して管理運営を進めていることです。その特徴を最大限に活かしていくために、各部会に専門的に担当するコーディネーターを配置します。

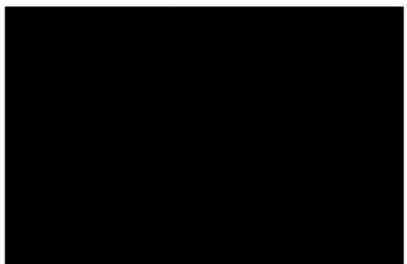
【公園の機能を活かした多種多様なプログラムの開発・展開】

● 市民活動・緑・事業者それぞれのコーディネーター間の連携を活かし、プログラム開発を支援します

- ・草津川跡地公園の管理運営手法の最大の特徴は、市民活動・緑の管理活動・事業者活動の各部会が連携して管理運営を進めていることです。その特徴を最大限に活かしていくために、各部会に専門的に担当するコーディネーターを配置します。
- ・コーディネーター同士で情報交換を行うことでの連携強化を容易にし、新たな活動主体の発掘や魅力的なプログラムの開発など、各活動部会の活性化につなげていきます。
- ・市民活動部会を中心に緑の管理活動・事業者活動と連携した取り組みとして、堆肥づくりのプロジェクト「ゆるふわたいひくらぶ」の活動があげられます。
- ・2023年度の秋から、区間2(ai 彩ひろば)に放置されていた堆肥ピットを整備し、数人のメンバーで試験的に堆肥づくりの取り組みをスタートしました。2024年度からは、緑の管理活動部会や事業者活動部会とも連携しながら地域や事業者との連携を探り、堆肥づくりをテーマとした勉強会「くさねっこカレッジ」を開催することで参加メンバーを広げ「ゆるふわたいひくらぶ」を立ち上げました。11月には、くさつ Farmers' Market と連携したイベント「草と土と循環フェス」を開催した。2025年はメンバーと共に設置したバイオネスト(剪定作業や下草刈りで発生した枝葉や草を組み合わせ鳥の巣のような形状となる堆肥置き場)による堆肥づくりや、作成した堆肥を活用したエディブルガーデンづくりなどを進めています。



くさつ Farmers' Market と同時開催した「草と土と循環フェス」
堆肥ピットでつくった堆肥を使い、プランターにどんぐりを植えるプログラム

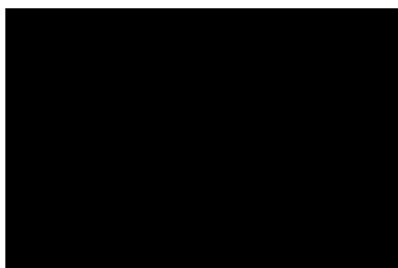


剪定枝など公園管理で発生した植物発生材を使ったバイオネストづくり
公園の中の風景に違和感なくなじみ、おもしろい景観を生み出している

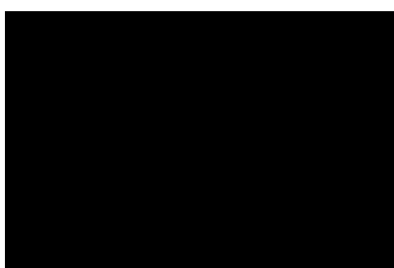
- 公園管理より発生した植物発生材を活用した堆肥づくりやその活用プログラムを、緑の管理や事業者活動と連携して開発し、公園の管理運営に寄与する活動として展開していきます。



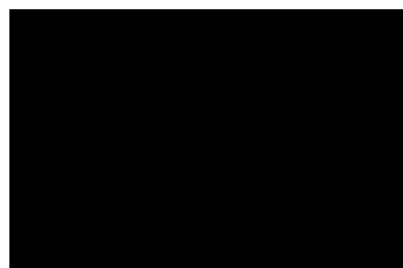
- コーディネーター同士で情報交換を行うことでの連携を容易にし、新たな活動主体の発掘や魅力的なプログラムの開発など、各活動部会の活性化につなげていきます。
- 防災かまどを活用したプログラムやストリートファニチャーを使った健康促進プログラムなど、公園の機能を活用したプログラムを市民活動、緑の管理活動、事業者活動の連携をして行います。
- 各部会の活動を地域や市民に知ってもらう機会として、各部会で連携を図り 3 部会合同フェスの継続開催を行います。
- くさねっこ活動のあとに除草やゴミ拾いといった公園の美化活動を行うなど地域や市民により公園のみどりを身近に感じてもらうため、コーディネーター同士で連携したプログラムを提供します。
- 市民活動・緑・事業者のコーディネーターが部会の情報交換を行い意見交換を行うことで、草津市を舞台としたさまざまなエリアでテーマに沿ったプログラムを行うなど、3 部会の活性化につなげます。



公園の防災設備を紹介するイベント



緑に触れることをテーマにしたプログラム



犬のマナーアップイベントと連携したくさねっこプログラム

● **人と学びの出会いをコーディネートして新しい価値を生み出します**

- ・複数あるみどりの市民活動を総括する「約束事」を定め多様な主体がかかわりあえる仕組みを作ります。
- ・マナーアップ協力隊の認知度アップ、リードフックの増設、しつけ教室、ペットフード講座、屋外用遮熱塗装の検討など事業者や市民と「dog friendly park」を作り上げます。
- ・プロから料理を学ぶことができる料理教室開催を検討します。

● **さまざまな分野・主体（事業者・企業）との連携を継続します**

- ・6年間に培ったノウハウや人脈を基にキラリエ草津やアーバンデザインセンターびわこ・くさつなど、草津市の市民活動支援拠点との連携を継続・強化します。
- ・これまで、くさねっこパフォーマー登録を促進するのと合わせて、くさねっこプログラムの公園外での活動展開の促進を以下の通り広げてきました。また、ロクハ公園や水生植物公園みずの森など草津市の施設とも多様な分野で連携を進めています。今後もさらなる展開を支援していきます。



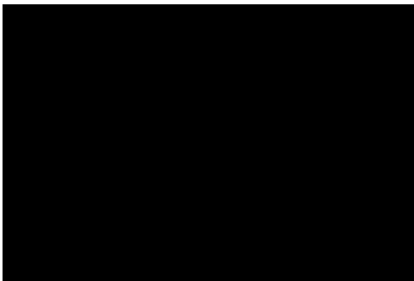
ラジオ体操会

2022年1月からスタート。de 愛ひろばラジオ体操会をきっかけに町内会のお祭りや商業施設（アル・プラザ草津）に誘われラジオ体操会を実施。2024年コミュニティ事業団が発行する「コミュニティくさつ」に掲載。2025年7月事業団主催「まちジブンゴト feel→do」に登壇。



くさねっこカフェ

水生植物公園みずの森で適的にくさねっこカフェを実施。また、矢倉町内会のお祭りに出張。朱音会の大正琴の演奏やラジオ体操会も併せて実施。2024年3月、草津市立図書館で実施された「青空図書館」にてくさねっこカフェを実施。水生植物公園みずの森で定期的にくさねっこカフェを実施。



Masa

2023年、くさねっこカレンダーからくさねっこのことを知り登録。毎月「誰でも！どこでも！みんなのヨガ部」を実施。その後、キラリエ草津にてさらにプログラムを展開。2025年、ai 彩ひろばで実施しているくさつランフェスのアンバサダーに立候補。



朱音会

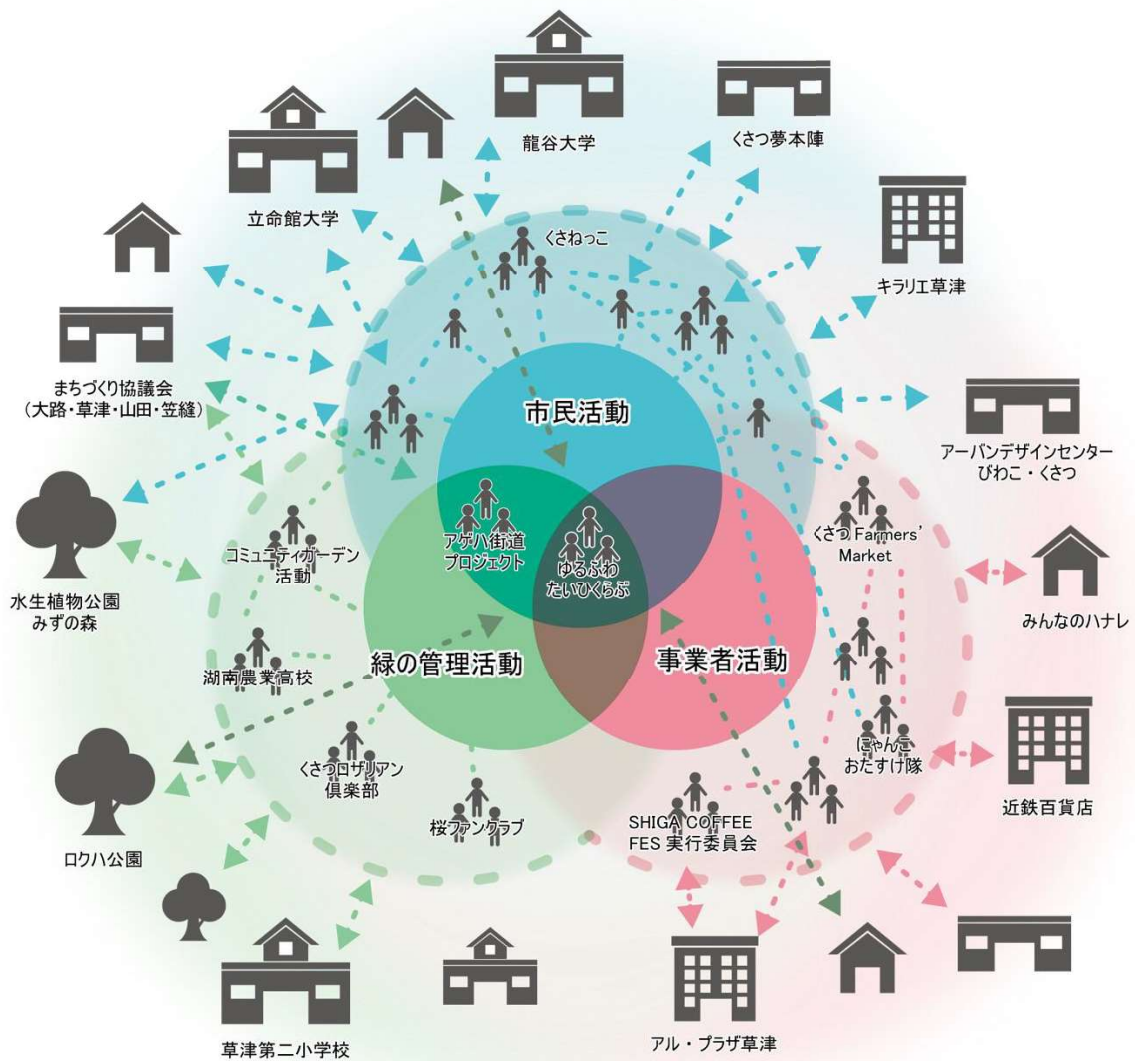
2021年からほぼ毎月プログラムを実施。アンサンブル（琴楽里）やデュオ（ツインズ MION）としても活動している。昭和歌謡を歌う登録パフォーマーを紹介し、そのご縁からえふえむ草津のゲストに出演。また、夢本陣で大正琴と昭和歌謡のコラボプログラムを実施した。



コルティカルチャー・tokotokoto community

コルティカルチャーはくさねっこを機にグループ結成、プログラムを実施。2組ともゆるふわたいひくらぶメンバーである。堆肥づくりの取り組みを機に知り合い、コルティカルチャーの代表である [REDACTED] が主催する BASE FARMERS MARKET に tokotokoto community が出店。

- これまでの取り組みを通じて、以下の図に示すように、市民活動主体に加えて、公園内で市民活動と連携して活動する緑の管理活動や事業者などの主体が増えてきました。さらに、立命館大学や龍谷大学などの大学や周辺の小中学校などの教育機関や自治会や地域協議会など、外部との連携も充実してきました。引き続き、大学や高校、小中学校、研究施設や企業などの主体と連携し、公園の機能を活かした多種多様なテーマ（みどり、健康、防災、子育て、ゼロカーボンなど）に特化したプログラムを展開していきます。



※中心から外に広がるグラデーションの濃さは、公園外に活動が広がっていく様子を表しています。
 ※点線の内側が公園の活動、外側が公園外の活動を表しています。

● 草津川跡地公園と市民活動がより身近なものとなるための各部会と連携した広報を行います

- ・ 草津川跡地公園 info の Instagram にてくさねっこカレンダーや市民活動の紹介記事を毎月投稿しています。その結果、くさねっこの Instagram のフォロワーは 892 名、投稿をはじめた 2024 年 5 月からは 129 名増加しました。くさねっこアーカイブサイトでは毎月のプログラムカレンダーやイベント等の開催レポートなど、3 年間で 56 件の記事を更新しました。定期的にイベントとの連携を記録としてまとめてきたことで、これまでの活動を伝えることができます。
- ・ くさねっこアニュアルレポートを毎年発行し、くさねっこの活動を伝える媒体として活用しています。市民活動についての視察を希望される依頼も多く、活動主体の登録数やプログラム数など、市民活動の概況を提示した資料としても評価いただいています。
- ・ 草津川跡地公園や市民活動を地域や市民により身近に感じてもらうために、すでに連携して情報発信を展開しているえふえむ草津との連携を継続して行います。
- ・ 草津川跡地公園や市民活動を地域や市民により身近に感じてもらうために、すでに連携して情報発信を展開しているえふえむ草津との連携を継続して行います。
- ・ 各事業部のイベントは単体で告知をすることが多く、連携した広報はされていませんでした。くさねっこカレンダーやみどりのプログラムなど単体がわかる広報媒体は残しつつ、公園を舞台としたイベントとしてまとまりのある広報を検討します。



公園の Instagram による
くさねっこカレンダーの紹介



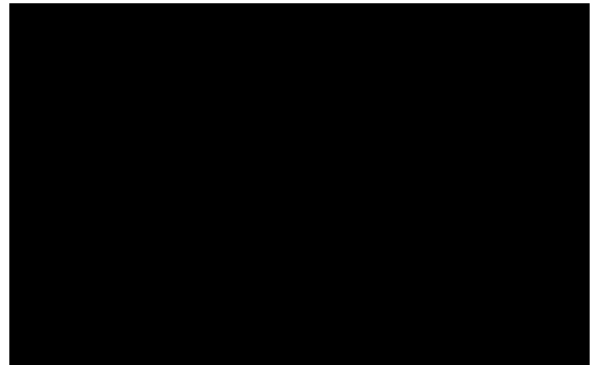
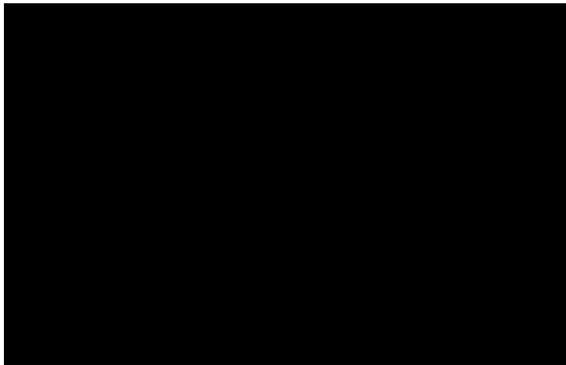
アニュアルレポート

〈コーディネーターに関する職員の配置及び取り組み〉

● コーディネーターに関する専門知識の地元への定着を図ります

指定管理者の担当者を市民活動・緑の管理活動・事業者活動の各部会にコーディネーターとして配置します。

- ・市民活動コーディネーターについては、2024年1月以降から新しく2名の地元人材を雇用し、市民活動コーディネーターの活動を開始し、日々の活動支援を行っています。当初2名に対しては、本プロジェクトの経緯を説明し、市民活動コーディネーターに必要なスキルについて研修を実施しています。現在、毎月のくさねっこカレンダーの作成、日々のパフォーマーからの相談対応、日々のプログラム開催の支援などを担っています。さらに毎年作成しているアニュアルレポートの制作、草津桜まつり開催に併せて実施するくさねっこプログラムに関わるパフォーマーとのやりとり、調整など、2名の市民活動コーディネーターが主担当となって進め、コーディネーター人材として活躍しています。さらに、引き続き、全国各地の豊富な事例を踏まえた市民活動プログラムの企画、ファシリテーションやグラフィックデザインなど、コーディネーターの持つ専門的なスキルの地元への定着を図っていきます。



3名の市民活動コーディネーターが公園に常駐し、市民活動のさまざまな支援をおこなっている

- ・泉佐野丘陵緑地、立川市子ども未来センター、羽村市 S&D スポーツパーク富士見（富士見公園）、千里中央公園、茨木市文化・子育て複合施設「おにクル」、安満遺跡公園や下北線路街の緑地、兵庫県の東遊園地などコミュニティデザイン手法を活用して市民活動支援を実施している他の施設を参考にし、コーディネーターの資質の向上を図ります。また草津川跡地公園に根差した育成プログラムを作成し、コーディネーターによる OJT などにより地域人材の育成を進めていきます。
- ・草津川跡地公園や地域での活動を活性化するため、市民活動のさまざまな知識を学ぶスキルアップ講座「くさねっこカレッジ」を実施しています。2023年度は緑の管理活動部会との連携企画として、草津川跡地公園の桜を学ぶ講座企画を実施しました。この講座を通して緑の管理活動部会の取り組みである「くさつ桜ファン倶楽部」の立ち上げにつなげています。2024年度は市民活動部会、緑の管理活動部会、事業者部会で連携を目指して取り組むプロジェクトとして進めてきた「堆肥づくり」をテーマに講座企画を実施し、公園管理より発生した植物発生材を活用した堆肥づくりやその活用プログラムの開発など、公園の管理運営に寄与する活動の展開につなげています。そして、2025年度は、事業者活動部会との更なる連携を目指していくことを目的に、草津まちづくり会社やくさつ Farmers' Market の主催者をゲスト

に招いて、公園から発信するまちの魅力づくりを学ぶ講座を企画しています。引き続き、さまざまな学びの場をつくり、コーディネーター、そして、市民が市民活動をより充実して展開できるよう、支援していきます。



草津川跡地公園の桜について学ぶ
くさねっこカレッジの様子



堆肥づくりについて学ぶ
くさねっこカレッジの様子

② 草津川跡地公園管理運営会議の運営

- **指定管理のパラダイムが変化する中での「草津川跡地公園管理運営会議」の次の展開**
 - ・市民活動や事業者によるにぎわいの創出、周辺の地域団体との連携は草津川跡地公園において公園ににぎわいを生みだし、一定の成果をあげています。次期指定管理において、利用料金制導入により事業者連携・資金循環と市民活動や地域連携とのフレームワーク作りが重要な段階となります。ステークホルダーと共に理想とする公園の姿を想像し、新たなルールづくりと定着が必要です。
- **管理運営会議の運営方針：共通の課題やテーマに多様な主体とともに一緒に取り組み、まちへの広がり意識してその解決を図ります**
 - ・カーボンニュートラルや健幸都市などのテーマでは、公園だけでなく、まちも巻き込むことが必要です。課題やテーマに応じてメンバーを変えながら、挑戦するプラットフォームとします。
- **全体会の運営方針：ルールや企画運営への助言、連携調整に加え、公園で生まれる様々なプロジェクトを支援するプラットフォームとします**
 - ・全体会は公園を拠点に生じる新たなプロジェクトを応援し支援の輪を広げる役割とします。
 - ・全体会は年1回の開催し、公園や各部会の課題について、方向性を定める実行力のある会議体とします。
- **3部会の運営方針：各部会に専門のコーディネーターを配置し、支援の強化と部会同士の連携強化を図ります。コーディネーターを目指す地域人材を育成し、持続的な支援体制を構築します**
 - ・専門的ノウハウを持つコーディネーターを各部会に配置します。また、地域人材を雇用し、将来的なコーディネーターとして活躍していける人を育成、ノウハウ提供をおこないます。
 - ・各コーディネーターは適時に連絡会を開催し、部会同士の連携を密にします。
 - ・各部会は年12回の開催とし、市民活動を支える中間支援組織としての役割を果たします。

(3) 民間事業者のノウハウを活用した集客や自主事業の取り組み

① 広報・利用促進

【広い世代に届く広報の在り方】

多様な主体が公園で行うプログラムを広い世代の市民に届けることで活動の支援を行います。

● 公園の周知拡大を図り公園を草津市のシンボルとする

公園パンフレットは、公園の周知を広げるため、手に取りたくなる・集めたくなるパンフレットデザインとし公園内の魅力にクローズアップした内容に変更しました。より詳しい花暦を知りたいというニーズや公園の旬の魅力を効果的に発信するため、SNS活用を効果的に行うことや配下先を年間で見直し、無駄のないよう配布することで周知の拡大を図ります。

● 地域のメディアと連携したプロモーションによる、まちへ繰り出す広報

- ・ えふえむ草津と連携し、毎月2回火曜放送「de 愛 ai 彩情報局」を継続します。
- ・ 一般社団法人草津市観光物産協会と連携を図り、草津市の観光拠点の1つとして魅力発信に努めます。
- ・ 有料掲載の雑誌へ草津川跡地公園の魅力発信を検討します。

● 公園のファンづくりと市民発信力による2次的発信の強化

草津川跡地公園の広報ツールは、2020年4月から着々とファンを獲得し、インスタグラムのフォロワー(インフォメーション)は4,000件以上、グーグルマップの閲覧数は11万件、HP閲覧数は年間280,000件以上の閲覧数(2024年度)と都市公園の中でも高い水準であると考えられますが、アンケート調査では初めて来園して下さった方が4.5%と再来くださる来園者が多い公園です。そのため、来ていただいている方々が公園に愛着を持っていただき市民や事業者が主体的に発信したくなる仕掛けづくりを促進し、公園に来てくださる人を更に増やし草津市のシンボルとなるよう認知度拡大を図ります。



● 公園とまちのあらゆる魅力を伝える特集 (HP等でのテーマ型ページの作成)

- ・ 公園にはあらゆるコンテンツが存在します。動植物、昆虫、活躍する人、ランニングやサイクリング、ピクニックスポット、桜の名所など、さまざまなことをテーマに、地域協働で取り組む公園スタッフだからこそ知り得る情報を活用しながら、まちと公園の魅力を発信していきます。草津川跡地公園や市民活動を地域や市民により身近に感じてもらうために、すでに連携して情報発信を展開しているえふえむくさつとの連携を継続して行います。

- マス告知、地域告知、SNS、書籍化、コンクールなどを活用したマルチプロモーション
- 書籍や雑誌への掲載、様々な賞・コンクールへの応募を行うことで、業界内での知名度を高めます。第3期指定管理事例として2024年度の掲載記録を事項に示します。

草津川跡地公園掲載資料一覧

ジャンル	掲載・放送場所	所属	掲載・放送日時	取材日時	取材場所	取材・掲載内容
フリーペーパー	シガリズムトリップ春号	びわこビクターズビューロー	2024年4月号	—	de愛ひろば	桜の見頃
	Gardeners	京阪園芸	2024spring&summer	—	de愛ひろば	公園めぐり
	びわこきつ たっぷり満喫日おok	草津市観光物産協会	2024年6月1日	—	de愛ひろば ai彩ひろば	めいっばい染しむ遊び場スポット
	JRふれあいハイキングだより冬号	草津市観光物産協会	2024年冬号	—	de愛ひろば	3/29(土) 桜まつり ハイキング
掲載・放送場所	所属		—	—	—	—
新聞	中日新聞	中日新聞	2024年8月17日	2024年8月16日	ai彩ひろば	ひまわりういーく
掲載・放送場所	所属		—	—	—	—
放送局	えふえむ草津	草津市	2024年4月10日	—	ai彩ひろば・ de愛ひろば	地域くらし情報コーナー・番組 de愛・ai彩情報誌
	びわこ放送 「草津水輪のそれ知りたいたつや〜ん」	琵琶湖放送株式会社		2024年10月30日	de愛ひろば	しゅぼん玉おじさんのシャボン玉技の披露
	「マイあき」内マイ100	NHKラジオ	3/11(火) 朝6時台後半		ai彩ひろば・ de愛ひろば	草津川跡地公園、くさねっこ紹介
	「おのみち630」しがトク内	NHK大阪放送局	3/21(金)	2025年3月9日	ai彩ひろば・ de愛ひろば	ai彩ひろばラジオ体操会、de愛ひろばのくさつ Farmers Market、おのみち777付 公園の歴史の紹介など
	ショクナナ！フェス内草津川跡地公園紹介ブース	YouTube	3/2(水)		みずの森	みずの森開催 ショクナナ！フェス
掲載・書籍						
掲載・放送場所	所属		—	—	—	—
市政情報誌	広報くさつ	草津市	2024年4月11日		de愛ひろば	広報くさつ表紙(桜の写真)
	広報くさつ	草津市	2024年5月1日		de愛ひろば	ノルディックウォーキング体験会/寄せ植え教室
	広報くさつ	草津市	2024年6月1日		de愛ひろば	寄せ植え教室
	広報くさつ	草津市	2024年7月1日		de愛ひろば	寄せ植え教室
	広報くさつ	草津市	2024年8月1日		de愛ひろば・ ai彩ひろば	第3回緑華都市くさつランフェスティバル/寄せ植え教室/ ai彩ひろば ひまわりウォーク
	GOOD NATURE GOOD CITY 移住編	草津市総合政策部 企画開発課	2024年3月1日		ai彩ひろば・ de愛ひろば	草津名所名所紹介
	市制施行70周年記念誌	草津市	2024年7月1日		くさねっこ	市民活動・くさねっこP22
	広報くさつ	草津市	2024年9月1日		de愛ひろば	寄せ植え教室
	広報くさつ	草津市	2024年10月1日		de愛ひろば	ノルディックウォーキング体験会/寄せ植え教室
	広報くさつ	草津市	2024年11月1日		de愛ひろば	ノルディックウォーキング体験会/寄せ植え教室
	広報くさつ	草津市	2024年12月1日		de愛ひろば	寄せ植え教室
	広報くさつ	草津市	2025年1月15日		de愛ひろば・ ai彩ひろば	打鉄取材場所・ノルディックウォーキング
	広報くさつ	草津市	2025年2月1日		de愛ひろば	寄せ植え教室
	掲載・放送場所	所属		—	—	—
撮影	増沢 ぶくみ	平安女学院大学	YouTube	—	de愛ひろば	大学の課題のため撮影
掲載・放送場所	所属		—	—	—	—
その他	キラリエ(まちづくり復興課5Fフロアスクリーン)	草津コミュニティ事業団			de愛ひろば・ ai彩ひろば	草津川跡地公園の四季がわかる動画配信
	道賀会開大会PR動画	草津商工会議所女性連合会		2024年9月20日(金)	de愛ひろば・ ai彩ひろば	9月開工会議所女性連合会 道賀会開大会において上映する道賀 会PR動画内で公園を紹介
	社内報	東海東京証券			de愛ひろば	TTの顔No.17 草津編

② 自主事業

公園課題を解決するため、公園の活用方法を探るチャレンジ事業、公園管理運営の妨げにならない定常事業、制度活用・制度設計の3つで整理し事業展開を行います。

● 公園のにぎわいにおける課題：公園内だけでにぎわいが生まれ、にじみ出しにつながっていない

第3期指定管理では事業者との協業や指定管理発案イベントなどに取り組みを行い、多くの来園者に恵まれました。

近隣商店街等からは「にぎわいが公園内で完結している」という声が寄せられているため、区間ごとにコンセプトを定め、にぎわい創出を行うことで公園とまちの双方ににぎわいが流れる取り組みを行います。(事業検討表：

②、⑨、⑪)



● 集客における課題：公園の特徴を生かし、来園者のニーズ適した取り組みを行っていない

第3期指定管理では、美しい風景づくりを行い来園者増加の取り組みを行い、アンケートやKDDIの来園者データと合わせ区間ごとに訪れる来園者の年代や求めているものを把握しました。区間2はBBQ利用者が多く40代の来園者が多くみられるのですが、イベントや通常公園管理をしている中では子どもと芝生広場や遊具を利用するファミリー層、グランドゴルフなどで地域コミュニケーションをとっている70代の方が多く目的をもった来園で日常使いされています。区間5は事業者による店舗がある影響や駅に近い地理的要因から、カフェ利用やサードプレイスとしての20代利用者、ウォーキング利用としての70代以上が多い現状です。これらのことから区間2と区間5はそれぞれ特徴が異なり、来園目的も異なる公園です。

区間2では車を利用し目的を持ってきてくださる方が多いため来園目的を増やし、来園者を増やす取り組みを行います。区間5では中心市街地活性化事業として公園とまちをつなぐ取り組みを行いサードプレイス需要や心身の健幸につながる仕組みづくりを図ります。

(事業検討表：①、③、⑤)



● 集客における課題：駐車場不足による、来園者数の限界

駐車場に限りがあるという問題や開園時間前に待機列が発生し、近隣へ迷惑がかかるという問題解決に向けて第3期指定管理期間にて「イベント利用の手引き」を作成し、公園利用についてのルールを統一を行い、運用を行ってきました。また、地域住民をターゲットとした小規模イベントを区間2で行うなどなるべく駐車場を圧迫させない集客を模索してまいりました。

毎月行うミニイベントやターゲットを絞ったイベントなど小さなにぎわいを生み出す催し物

を企画することで駐車場の利用平準化を図ります。区間5では東西の駐車場を連携させた取り組みによる利用者の分散やまち全体で行うゼロカーボンシティに向けたイベントなど駐車場不足による集客の限界を超えた取り組みを行います。

(事業検討表：③、⑤、⑩、⑪、⑫)

● **経営基盤の課題：多様な収入源の創出を図り、駐車場収入への依存度を下げる**

公園が公共からの財源のみに頼ることは恒久的に憩いの場を市民に提供することができません。一方で公園は多様な人々に開かれた場であるということも両立させる必要があります。利用しやすい公的空間であると同時に自主財源を得る取り組みを検討します。

第4期指定管理期間では現在の駐車場収入に偏った自主財源だけではなく新しい公園の収入源とするイベントや結婚式などを支援する場所貸しシステムや、ニーズに合った公園視察のプログラム実施を行います。(事業検討表：④、⑥、⑦、⑧、⑩、⑬、⑭)

【事業検討表】

チャレンジ事業	定常（日常化）事業	制度活用・制度設計
公園の使いこなしを事業として成り立たせるための取り組み	小規模多発型の実験的活用と一時的な賑わいの日常化	プロジェクトや定常事業を担保し可能性を広げる制度活用と将来のための制度提案
① 誰でもは入れる図書スペースのある公園 ② 屋台通りのある公園 ③ 生き物とふれあえる公園 ④ キャンプなど都市の中で自然を満喫できる公園 ⑤ 禁止事項が少ない公園 ⑥ 星座観察会ができる公園 ⑦ 車中泊ができる公園	⑧ 快適な空間提供として飲食提供（自動販売機） ⑨ 地産地消への貢献、地元愛着形成として味覚の提供（シャーベット等） ⑩ 東西駐車場の効率的な利活用 ⑪ 教養室を利用した写真の展示会等まちとつなぐ企画	⑫ ウォークアブルな公園・まちづくり ⑬ 中央園路の利活用、教養室の夜間利用、未利用時の利活用 ⑭ イベント等賑わい創出活動が公園管理運営資金に繋がる制度検討

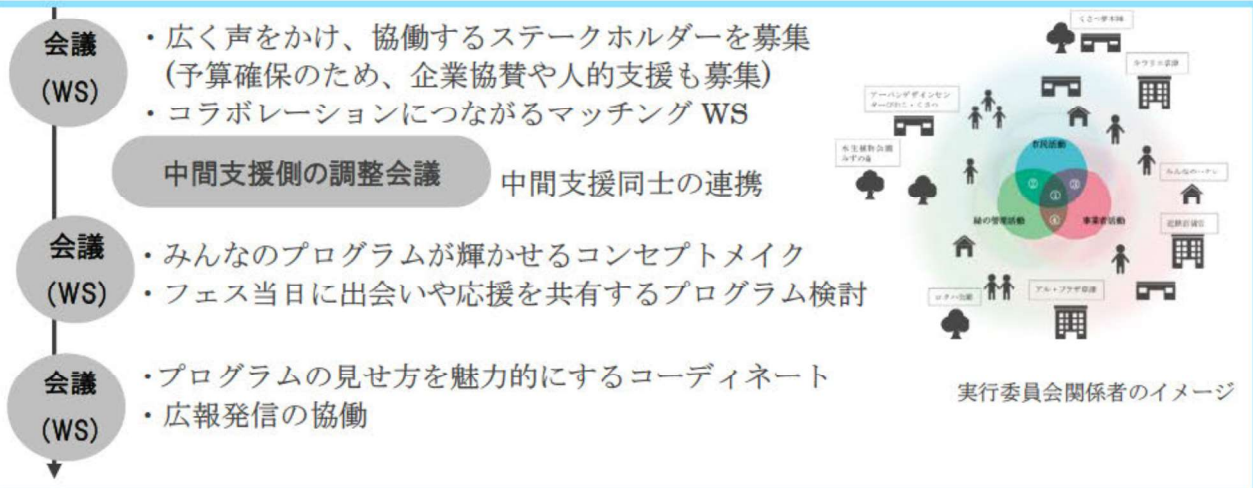
③ 多様な主体の力を結集し、ともにつくる（共創する）イベントの実施

市民、事業者、地域団体など多様な主体とともにつくるフェスを開催します。フェスでは、かたち、うごき、しくみが連動した取り組みをお披露目します。



- ① 市民、事業者などのあらゆる属性が垣根を越えた協働のきっかけをつくり、跡地公園の新たな資産となる取り組みやコンテンツを形成します
- ② 自己実現する姿を共有しあい、わたしらしく暮らす生きがいを実感し、心とまちの健康へつなげます
- ③ 成功体験とノウハウを積み重ね、公園のある魅力的なまちへの持続的な関与者がうまれる拠点とします

つくるプロセスから協働する、フェスの進め方(想定)



フェスのイメージ



さまざまな主体のプログラムが集まります。各部会の連携により、異なる属性の主体がコラボレーションしたプログラムを展開します。

[プログラム例]

- グラッシーとくさねっこがコラボしたガーデンカフェ
- ロザリアン倶楽部メンバーによるバラの使い方講座
- 企業協賛プログラム
- 常設機能の設置による空間使いこなしの展示



**区間 2・区間 5・公園周辺施設など
公園とまちを会場に**
(区間 6 の見学など機運醸成の取り組み)



↓
フェスのそのあと、につながる 公園ファンミーティング(反省会と次の展開を話し合い)の実施

④ その他の取り組み

● 視察事業の継続と市民の有償ボランティアの取り組み

- ・2021年度に開始した自主事業としての有償視察の受け入れは2025年4月から8月時点で毎月行っており、草津川跡地公園が最先端で優れた公園であることやその管理運営を学ぶ需要が高いことがわかりました。プランの見直しを行い、より質の高い視察プランを提供していきます。
- ・市民活動プランへのニーズが高く、どのプランにも組み込むことで草津川跡地公園の先進的な取り組みやノウハウの提供を行います。

● 指定管理者のノウハウを生かした、市民のモデルとなるような事業の実施を検討

- ・春と秋に2回行っているフラワーフェスタを継続し各部会合同の企画イベントの実施や「誰もが憧れる園芸家」をゲストするなどし、市民同士の交流の場とします。
- ・公園のみどりに「かかわる」市民発掘に向けて、公園職員や事業者が講師となり、園芸講座やワークショップなど、みどりに関する多様なプログラムを毎月実施します。
- ・地域の幼保園と連携した「花畑プロジェクト」や、多世代が参加できる「自然体験」などのプログラムを提供します。



● 市と緊密に連携して、情報のセキュリティ管理やコンプライアンス順守に努めます

- ・情報発信やイベントの企画・運営には、市の関係部署と緊密に連携しておこない、コンプライアンス規定に準拠して安全・安心な運営に順守します。

(4) 長期包括契約を生かしたサービスの継続的改善やコスト削減に向けた取り組み

① サービスの継続的改善方法

● 第3期指定管理で培った人脈やノウハウを生かした公園とまちをつなぐ取り組み

- ・草津まちづくり株式会社と相互関係を生み出し、公園とまちの回遊性を高め、にぎわいの循環を生み出します。
- ・草津まちづくり株式会社の取り組みであるまちの空き家や空きスペースを活用した取り組みを公園で出た剪定枝や花などを自由に工作できる場所や花束ワークショップなど心に残る体験の提供支援を検討していきます。
- ・水生植物公園水の森やロクハ公園など草津市内の公園と連携し、生き物の生息地をつなぐビオトープネットワークを構築して生き物の回遊性を高めるとともに市民も各公園を巡る取り組みを行います。

● 3ヶ年ロードマップの作成と推進

- ・36カ月のスケジュールを組み、年度毎にスパイラルアップしていく長期的なPDCAサイクルプランを構築できます。※別紙参照

● PDCAマネジメントにより、計画的かつ継続的に改善やコスト削減に努めます



・全体の計画から個別の取り組み課題についても、PDCAマネジメントにより「計画」・「実行」・「確認」・「修正」を繰り返す中で、サービスの向上やコストの削減を図ります。

● 指定管理事業の目標値を定め、成果と課題の『見える化』を継続し、精度の高い管理運営をおこないます

- ・5年の事業目標と年度ごとの目標を定め、各年度ごとに成果と課題を顕在化します。それら事業進捗をもって管理運営会議全体会への報告や市との協議をおこないブラッシュアップを図ることで、事業全体のスパイラルアップに努めます。
- ・定量的、定性的な評価を見える化を用いて継続することで、次に目指すべき方向性を明確化し、行政、事業者とも共有することができます

This table provides a detailed overview of management metrics and performance indicators. It is organized into columns for different categories such as '公園管理' (Park Management), '施設管理' (Facility Management), and '環境管理' (Environmental Management). Each column contains specific data points, trends, and visual representations of performance over time.

This table displays visual evidence of park management results. It features a grid of photographs and short text descriptions for various activities and facilities. The images show people engaged in park activities, well-maintained green spaces, and specific infrastructure like benches and lighting. The text provides context for each visual, highlighting the quality and variety of services provided.

● **現在の植栽管理を見直し、合理的管理を検討します**

- ・ 気象データや降雨情報を活用し公無駄のない灌水を行うことで合理的な園地作業を進めることで園地管理手間を減らします。
- ・ エバーフローの設置を継続し、生分解性給水ポリマーなどの部材を導入することで園地管理の合理的継続のある安全的管理を実現します
- ・ 剪定枝を利用したマルチングやヤギによる除草など雑草抑制に努めます。
- ・ 芝生刈り作業の機械導入を図ります。



● **落ち葉や剪定枝による堆肥化や剪定枝利活用により公園処分費用を削減します**

- ・ 公園資源である落ち葉をたい肥化によるアップサイクルや剪定枝を活用したプログラムなどを行うことで資源の利活用を行います。
- ・ 公園から出るごみをアップサイクルすることで、ゼロカーボンシティ草津へ寄与します。

● **デジタル化を進め、資源の無駄を減らします**

- ・ 遠方の JV 企業体や聞き取り調査などはオンライン会議を利活用し、移動費の削減並びにゼロカーボンシティ草津への取り組みを推進します。
- ・ 会議書類はオンラインツールを使用するなど資源の無駄を減らし、かつ組織体で業務の進捗を随時把握できる体制づくりに役立ってます。

(5) ゼロカーボン、健幸都市くさつの推進に向けた取り組み

① ゼロカーボンに関する取り組み

草津市で令和3年3月に策定した「第4次草津市地球を冷やしたいプロジェクト（草津市地球温暖化対策実行計画）」に記載されている重点アクションに基づき、以下のような取り組みの実施を検討します。

草津市の地球温暖化対策の体系

基本方針1 未来へつなぐ低炭素スタイルの推進

- 〔1〕 日常生活と事業活動における低炭素対策の推進
- 〔2〕 建物、施設における低炭素対策の推進
- 〔3〕 自動車における低炭素対策の推進
- 〔4〕 環境学習・活動の推進

基本方針2 安全安心な暮らしに向けた適応の推進

- 〔1〕 災害に関する対策の推進
- 〔2〕 健康に関する対策の推進
- 〔3〕 自然環境に関する対策の推進

重点アクション

① 身近なことから低炭素推進プロジェクト

- ①-1 エコアクション推進事業
- ①-2 愛する地球のために約束する協定推進事業
- ①-3 窓断熱推進事業
- ①-4 スマートドライブ推進事業
- ①-5 くさつエコスタイルコンテスト（子ども部門）推進事業

② 安全安心な暮らし推進プロジェクト

- ②-1 ハザードマップウォーキング推進事業
- ②-2 日傘等推進事業
- ②-3 体も地球も元気にプランター菜園推進事業

● エネルギーの地産地消・災害時の備え

- ・アウトドアや家庭でも利用できるソーラー発電システムを公園内への導入し、市民へエネルギー地産地消について考える機会提供を検討します。
- ・既存の電灯についているソーラーパネルから小さな蓄電池をつなぎ、まちなかの災害時による備えにも活用できる周辺自治体と連携したソーラーパネル活用スポットの創出を検討します。
- ・剪定枝、間伐材等の処分先を再検討し木質バイオマスの推進を図ります。（製材用材、パルプ・チップ用材、合板用材、燃料材等への利用など。）

● de 愛ひろば駐車場の東西利用の平準化

- ・ de 愛ひろばは、西駐車場が満車になりやすく、比較的東駐車場は満車になりにくい傾向があります。東西駐車場の利用を平準化させる取り組みを事業者と連携行うことで駐車場待機などの交通渋滞を緩和させます。

● 事業者等によるライフスタイルノベーションの推進

- ・ 市民活動の一つとして生ごみのコンポスト化勉強会を行い、市街地にひろがるみどりの推進活動を行うことでごみの削減とみどりの増加につなげます。
- ・ 管理事務所はもちろんのこと草津まちづくり株式会社と協力して、公園内のレストラン事業者を中心にゼロウェイストの推進によるゴミゼロを目指します。



● 市民活動との連携について

くさねっこに登録している団体や公園のみどりへ関心のある市民と連携し、以下ようなプログラムの開催を検討します。

- ・ 園内の清掃から出る落ち葉から、肥料をつくり、土壌づくりから始めるガーデンづくりプログラムの開催継続します。
- ・ 複数のプログラムを同時に開催するくさねっこ DAY などの機会を利用して、ゼロカーボンテーマにしたプログラムを開催し、市民が市民に向けて啓発する機会を創出
- ・ ゴーヤやホップなどツル科の植物の生態を学び、緑のカーテンを園内に設置
- ・ くさつエコスタイルコンテスト（子ども部門）で提案された内容について、実現の場として公園を活用します。





② 健幸都市くさつの推進に向けた取り組み

草津市で2023年3月に策定したくさつ健幸ガイドブックにある施策の方向性に基づき、以下のような取り組みの実施を検討します。



● 草津川跡地公園は生きがいを感じる市民活動拠点といたします

- ・ 区間2は目的をもって集まる人たちにさらなる出会いの機会を創出する拠点とします。
- ・ 区間5はまちの中心として人が集まり、またまちに人が回遊していく拠点とします。
- ・ 自らが行う活動が市民に周知され、認められることで誇りを感じてもらえる広報支援を行います。
- ・ 草津川跡地公園の体験が人の心に残り、想いが継承され、新しいことの気づきを生み出すことで文化が醸成されるような場となるよう仕掛けづくりを行います。

● 草津川跡地公園とまちとの回遊

公園だけでなく公園周辺店舗を掲載したパンフレットは、周辺店舗との連携をより深め、また周辺企業や団体とのネットワークを強化することで、よりまちの回遊性の向上に資するよう改定をします。掲載店舗にはパンフレットを設置し、公園からまちへ、まちから公園へと人の往来を誘発します。

● 健康拠点としての草津川跡地公園の存在

市民活動や企業との連携による様々なプログラム展開を実施し、草津川跡地公園を草津市内における健康として役割を發揮します。

● くさねっこの連携について

- くさねっこに登録している団体等と連携し、以下ようなプログラムの開催が考えられます。
- ・ 市民が気軽に楽しく日常的に運動するプログラムを「くさねっこ」から発信
 - 現在開催しているラジオ体操プログラムを多世代に向けて展開
 - 筋トレやストレッチに使えるストリートファニチャーの紹介
 - 草花を楽しみながらのウォーキングの実施
 - 生演奏の音楽や歌に合わせたストレッチや体操
- ・ ガーデンシティくさつの推進に向けて、主体性を持ち共に公園を育てる意識付けと、活動が無理せず楽しく健幸に続ける支援をします。(グラッシー、ロザリアン倶楽部、さくらファンクラブ)
 - 新規参加者増加に向けた広報の実施
- ・ 健康、子育てなど庁内の関係課へのヒアリングを実施し、公園で活動する市民団体との協働の可能性を検討



毎週土曜日に開催されているラジオ体操のプログラム



ストリートファニチャーなど公園の設備を学ぶカレッジ



公園を走りながら木や花の写真撮影するプログラム



ローズガーデンで実施したストレッチのプログラム

● 「健幸都市くさつ」 多様な事業者と連携検討

多様な事業者と連携することで健康推進活動を行います。

(取り組み事例)

① 体力測定会&カウンセリング

体組成測定や体力測定を行い、トレーナーによるカウンセリングの実施を検討します。

② 屋外レッスン

エアロビクス等の有酸素プログラムを屋外で実施検討します。

③ リレーマラソン大会

市内一般参加チームを募集し、草津川跡地公園内で実施検討します。

④ ポールウォーキング

市内一般参加者を募集し、草津川跡地公園内で実施検討します。



● その他、市や企業との連携による取り組み

- 草津市の健康に関わる部署や関連団体と協働して、草津川跡地公園で、「健幸都市くさつ」の取組みが進むように積極的に取り組みます。
- 市民を対象に健康増進をテーマとした専門指導者による講座・講演会やラジオ体操、高齢者向けの介護予防や筋力アップ体操、de愛ひろばの健幸ウォーキングコースやと ai 彩ひろばで側道を活用したお花を楽しむノルディックウォークなどを企画します。
- 草津まちづくり株式会社に協力して草津川跡地公園で開催される「健幸フェア」の支援します。
- 自主事業として、全日本ノルディック・ウォーク連盟と連携した活動の定例化を継続します。

